

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

<b>事業名</b>	美術館リニューアル事業	
<b>所管課</b>	(旧所管課)経済観光文化局美術館運営部事業管理課 (新所管課)経済観光文化局美術館事業管理課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成19年度	
<b>根拠法令</b>		
<b>行政計画</b>		
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 老朽化している施設・設備を改修し、ユニバーサルデザインへ対応するとともに、時代や市民ニーズに応える文化芸術振興拠点及び集客交流拠点としての魅力向上を図る。

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	1-4-2	
	再	5-1-2	
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
<b>施策</b>	心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり		
<b>事業群</b>	文化芸術の環境整備		
<b>施策成果指標</b>	文化芸術を鑑賞する市民の割合 (令和4年度目標値:75%)  文化芸術活動を行う市民の割合 (令和4年度目標値:25%)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	福岡市美術館を訪れる人(市民、国内・海外観光客)
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	集客交流拠点としての魅力が向上し、多くの人が福岡市美術館を訪れる状態
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	・魅力的なコレクション展示や特別展を開催 ・コレクションを核としたSNS等による積極的な広報・情報発信 ・カフェ・レストランでのオリジナルメニューの提供やミュージアムショップでのオリジナルグッズの販売等の利便施設の充実 ・美術館でのコンサートやMICEイベントなど、多彩な集客イベントの開催。 ・ボランティアによる英語ツアーの実施、QRコードを活用した多言語(日・英・中・韓)での作品キャプションの展開

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	688,785
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	688,785
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	R1      R3
	<b>歳出合計</b>	683,790      683,634
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0              0
	<b>一般財源</b>	683,790      683,634

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	老朽化している施設・設備を改善するとともに、展示室等の拡張、大濠公園側のアプローチやカフェの新設、ユニバーサルデザインへの対応などを行う。 民間活力やノウハウを活用するため、改修及びリニューアル後の維持管理・運営をPFI方式により実施する。	平成31年3月リニューアル 展示室等の機能や美術品の保存環境の向上、教育普及活動の充実が図られるとともに、アプローチやカフェの新設、展覧会等における効果的な広報が行われることにより施設としての魅力が向上する。	展覧会の観覧者をはじめ、市民の憩いの場や、歴史・文化・観光の発信拠点として、多様な目的での来館者が増加する。	文化芸術に親しむ市民が増え、市民の文化環境への満足度が向上する。		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	
	<b>活動の指標</b>	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
		目標				R 年度
実績						
達成率						
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					

  

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>年度</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	
	<b>施設利用者数</b>	年度	R1年度	R2年度	R3年度
		目標	550,000	700,000	
		実績	509,240	160,061	-
		達成率	92.6%	22.9%	70万人
	目標			R 年度	
	実績				
	達成率				

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	日本で唯一の歴史資源活性化事業	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度	背景 福岡市は、日本で唯一の二重国指定史跡である鴻臚館・福岡城、国宝金印発見の地である志賀島、元寇防塁等の貴重な歴史・文化資源があり、観光振興を図るにあたり活用可能性が高いため。
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	5-1-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ		
事業群	福岡の歴史資源の観光活用		
施策成果指標	入込観光客数 (R4年度目標値: 2,000万人)		外国人入国者数 (R4年度目標値: 250万人)

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	鴻臚館・福岡城、元寇防塁、金印の歴史資源とその周辺エリア
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	鴻臚館・福岡城、元寇防塁、金印を観光振興におけるキラコンテンツとして磨き上げ、これらが所在するエリアに国内外からの観光客の集客を図る。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	・福岡城むかし探訪館、三の丸スクエア、鴻臚館跡展示館の管理運営を行い、観光客の受入環境を整備するとともに、体験型コンテンツやイベントの拠点として活用。
	・三の丸スクエアや福岡城むかし探訪館において着物体験や乗馬体験などの体験型コンテンツを実施。
	・デジタル技術によって復元された福岡城を楽しむAR体験コンテンツを拡充。
	・回遊モデルコースを設定し、情報発信するためのリーフレットを制作。
	・福岡城における夜間の観光振興に係る基本計画策定。 ・福岡城内及び周辺で活動する事業者との連絡会を開催。

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計	27,944		
歳入	特定財源	713	
	一般財源	27,231	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計	25,952	歴史文化を活かした観光振興事業に統合	
歳入	特定財源	1,050	
	一般財源	24,902	

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリア内の観光施設の管理運営</li> <li>歴史資源のユニークベニューとしての活用</li> <li>エリア内でのイベントの実施や招致</li> <li>エリア内での体験型コンテンツの情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史資源及び周辺エリアの認知度が増加、エリアの魅力が伝わる。</li> <li>エリア来訪者の満足度が向上し、口コミ等の拡散が促進される。</li> <li>エリア内で観光客を対象にした民間事業者の参入が進む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリア内の観光客の来訪が増加する。</li> <li>エリア内の回遊性が高まり、滞在時間が増加する。</li> <li>福岡市内の観光スポットとしてにぎわいが生まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡市内への観光客の増加</li> <li>福岡市内の地域経済の活性化</li> <li>福岡市民のシビックプライドの醸成</li> </ul>																																																																										
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)																																																																									
		民間事業者からの事業提案数	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>7</td> <td>10</td> <td rowspan="3">13</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>128.6%</td> <td>120.0%</td> <td></td> </tr> </table>	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	目標	7	10	13	R 年度	実績	9	12	-	達成率	128.6%	120.0%		<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	目標				R 年度	実績					達成率					<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>54,000</td> <td>55,000</td> <td rowspan="3">55,000</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>31,423</td> <td>12,142</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>58.2%</td> <td>22.1%</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>70,000</td> <td>75,000</td> <td rowspan="3">75,000</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>119,881</td> <td>17,464</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>171.3%</td> <td>23.3%</td> <td></td> </tr> </table>	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	目標	54,000	55,000	55,000	R 年度	実績	31,423	12,142	-	達成率	58.2%	22.1%		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	目標	70,000	75,000	75,000	R 年度	実績	119,881	17,464	-	達成率	171.3%	23.3%
年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																										
目標	7	10	13	R 年度																																																																										
実績	9	12		-																																																																										
達成率	128.6%	120.0%																																																																												
年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																										
目標				R 年度																																																																										
実績																																																																														
達成率																																																																														
年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																										
目標	54,000	55,000	55,000	R 年度																																																																										
実績	31,423	12,142		-																																																																										
達成率	58.2%	22.1%																																																																												
年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																										
目標	70,000	75,000	75,000	R 年度																																																																										
実績	119,881	17,464		-																																																																										
達成率	171.3%	23.3%																																																																												

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	歴史文化を活かした観光振興事業 (市街化調整区域におけるグリーンツーリズムの推進, 市街化調整区域における観光ビジネス活性化事業, 市街化調整区域における地域滞在型観光振興事業を含む)	
<b>所管課</b>	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 福岡市の歴史資源に加え、都心部と豊かな自然がある海・山が近いというコンパクトシティの特徴を生かし、エリア観光振興を図るため。
<b>開始年度</b>	平成29年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	5-1-1	<b>施策成果指標</b> 入込観光客数 (R4年度目標値: 2,000万人) 外国人入国者数 (R4年度目標値: 250万人)
	再		
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
<b>施策</b>	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ		
<b>事業群</b>	福岡の歴史資源の観光活用		

**【事業概要】**

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 福岡市民及び市外からのインバウンドを含む観光客
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> 福岡市における観光については、都心部の商業地域におけるショッピングや飲食などがメインとなっており、観光振興の経済効果を市内隅々まで行き渡らせるため、都心部以外のエリアでの観光振興に取り組む必要がある。 そのため、福岡市内の歴史資源や文化財、文化施設、商店街、自然など、地域における観光資源の魅力を発掘し、それらを面で繋いだ周遊コースの形成を図るなどの取組みを行うことで、観光地としての魅力向上と集客促進を行い、地域経済の活性化を図っていくものである。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> 【歴史文化を活かした観光振興事業(予算: 1,425千円)】 ・福岡市公式の「福岡城御城印」の販売開始。 ・よかなびにおいて元寇防塁の情報を発信。 ・博物館の企画展に合わせた、エリア内民間事業者との特別プラン作成等を実施。 ・博多旧市街マップの多言語化を実施。(既存: 日、英/新規: 仏、韓、中簡、中繁) 【市街化調整区域におけるグリーンツーリズムの推進(予算: 500千円)】 ・曲淵ダムパーク内に観光案内板を設置。 【市街化調整区域におけるビジネス活性化事業(予算: 1,844千円)】 ・サイクリストに向けた安全対策として、砂の堆積しやすい「道切部」の清掃を実施。 【市街化調整区域における地域滞在型観光振興事業(予算: 1,000千円)】 ・市海づり公園において、オートキャンプ(車泊)の実証を実施。 ・地域滞在型観光の魅力発信のためのブース設置等を市観光案内所(天神)で実施。
-----------------	--

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		1,630
歳入	特定財源	0
	一般財源	1,630
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	R元	R3
歳出合計	5,605	25,994
歳入	特定財源	0
	一般財源	5,605

**【ロジックモデル・指標の達成度】**

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)	
	○市街化調整区域等における観光資源を地元や民間企業と連携して洗い出し、観光地としてのポテンシャルを引き出すとともに、課題整理を実施。 ○博多旧市街プロジェクトで取り組んでいる体験型プログラムの造成やまち歩き周遊コースの形成などの取り組みを参考に、市街化調整区域等における観光推進を図る。	○地元、民間企業等との協働体制の構築。 ○エリアにおける観光資源の見える化。 ○集客への課題整理と課題解決策を踏まえた観光施策の発案。 ○エリアの特性を活かした観光プログラムの開発支援や周遊コースの形成し、効果的なプロモーションを実施。 ○観光地として必要な観光案内板や多言語対応などの受入環境を整備。	○地元住民やエリア内で活動する民間企業のシビックプライドの形成やモチベーションの向上。 ○観光地化する上での課題を関係者で共有することで、意識の統一を図り、各人が自分ごととして集客に向けて取り組むようになる。 ○観光資源を見せることで、観光客がエリアへの関心を持つ。 ○観光地として必要な案内板の整備や周遊コースなどが掲載されたマップを制作するとともに、エリアならではの体験や食事ができることで観光客の満足度が向上する。	○地元、民間企業主導でエリアの特性を活かした観光施策が展開され、福岡市全体の観光ポテンシャルが向上する。 ○入込観光客数の増加に繋がる。 ○観光客の満足度向上により、滞在時間の延長やリピーターの確保に繋がり、地域の経済活性化が図られる。	
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
<b>活動の指標</b>	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	志賀島エリアでの外国人レンタサイクル利用者数	1,000	1,000	-	R年度
	目標	980	3	-	-
	実績	98.0%	0.3%	-	-
	達成率	1	2	-	R年度
	観光案内板(地区案内板, 誘導板を含む)の改修及び新設数	1	2	-	-
目標	1	2	-	-	
実績	100.0%	100.0%	-	-	
達成率	-	-	-	-	

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分	重点
------	----

<b>事業名</b>	博多旧市街プロジェクト	
<b>所管課</b>	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成29年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 天神ビッグバン、ウォーターフロントNextと歴史が息づく博多部の対比を考えながら街づくりを推進してきた一方で、博多部の歴史・伝統・文化の魅力が十分に認知されておらず、改めて、自分たちが住んでいる地域に興味を持ち、誇りに思う気持ちを育てながら、観光資源としてのポテンシャルを高め、市民や観光客にしっかりと伝える必要があるため。

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	5-1-1	<b>施策成果指標</b>
	再		
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
<b>施策</b>	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ		
<b>事業群</b>	福岡の歴史資源の観光活用		入込観光客数 (R4年度目標値: 2,000万人)  外国人入国者数 (R4年度目標値: 250万人)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	福岡市民及び市外からのインバウンドを含む観光客
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	天神ビッグバンと対をなすプロジェクトとして、中世最大の国際貿易都市であった博多部において、価値ある資源をストーリーとストリートでつなぎ、「博多旧市街」エリアとして、市民や観光客が認知し楽しんでもらえる環境を整え、魅力を高める。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、インバウンドを含む観光客が減少している状況を鑑み、博多旧市街の観光地としての価値を高める取組みを地元・民間事業者と連携しながら強化するとともに、安全安心にエリア観光を楽しんでいただける環境を整えることで、ウィズコロナ時代における新しい博多旧市街エリアの観光推進に取り組んだ。</li> <li>〈観光地としての価値を高める取組み〉</li> <li>・交通局及びJR九州と連携し、地下鉄コンコース内及び博多駅構内における博多旧市街の魅力伝える装飾を実施。</li> <li>・博多旧市街エリアにおける特色ある体験コンテンツや土産品、宿泊プラン等を博多旧市街セレクションとして商品認定するなど、業種が異なる事業者間連携や新たな商品造成などの動きが容易にできる仕組みづくりに取り組んだ。</li> <li>〈安全安心に楽しめる環境整備〉</li> <li>・街並みの雰囲気を醸成のための灯籠制作</li> <li>・非接触型の街歩きガイドコンテンツ(音声AR)の制作及び実証</li> </ul>

事業費(千円)			
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>			
歳出合計		21,516	
<b>歳入</b>	特定財源	0	
	一般財源	21,516	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
年度		R1	R3
歳出合計		4,706	22,809
<b>歳入</b>	特定財源	0	0
	一般財源	4,706	22,809

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー（ロジックモデル）

①活動アウトプット

（どんな活動を行うのか）

地域、民間事業者等との連携をさらに強化しながら、博多旧市街の認知度の向上や福岡観光の定番化に向け、下記のことに取り組む。  
 〈博多旧市街フェスティバルの拡充〉  
 ・ライトアップウォークの期間延長や新規コンテンツ等の実施  
 ・SNS等を活用した情報発信強化  
 〈博多旧市街ブランディング〉  
 ・交通機関等と連携した動画放映や装飾の実施  
 ・博多旧市街セレクションの拡充  
 〈沿道の賑わい創出〉  
 ・石畳風舗装等の道づくり  
 ・灯籠の設置などによる街並み雰囲気醸成  
 ・音声ARを活用した街歩きガイドコンテンツの拡充  
 ・寺社保有の貴重な文化財の活用検討

②結果アウトプット

（活動の結果、どうなるのか）

○地域、民間事業者等と連携・協力体制が強化される。  
 ○フェスの内容充実、期間延長により、新規・リピーターが増加し、認知度向上に繋がる。  
 ○若年層やF1層の誘客により、SNSでの情報拡散や地域への経済波及効果に繋がる。  
 ○街並みの雰囲気醸成することで、旧市街の見える化に繋がる。  
 ○単なるまち歩きだけではなく、音声ARや多言語ガイドを組み合わせることで観光客の期待度と満足度の向上に繋がる。  
 ○「博多旧市街＝観光地」というイメージの定着。  
 ○観光地のイメージが定着することで、多くのメディア、雑誌等に博多旧市街が掲載され、新たな民間事業者の参入に繋がる。

③中間アウトカム

（その結果、対象はどうなるのか）

○地元住民やエリア内で活動する民間企業のシビックプライドの形成やモチベーションの向上。  
 ○雰囲気ある街並みや体験型コンテンツを見せることで、観光客がエリアへの関心を持つ。  
 ○まち歩きをさらに楽しめるコンテンツを用意することで、観光客の満足度が向上し、リピーターの確保に繋がる。  
 ○観光地として定着することで、新規事業者の参入に繋がり、エリア内の経済活性化に繋がる。

④最終アウトカム

（その結果、市としてどうなるのか）

○地域、民間事業者等の主導で博多の特性を活かした観光施策が展開され、エリアの観光ポテンシャルが向上する。  
 ○福岡観光の定番地＝博多旧市街となる。  
 ○博多部の歴史、伝統、文化が際立ち、福岡市の魅力がさらに高まる。  
 ○観光客の満足度向上により、滞在時間の延長やリピーターの確保に繋がり、地域の経済活性化が図られる。  
 ○入込観光客数の増加に繋がる。

活動の指標	指標の内容	年度	実績		目標	
			R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
活動の指標	地元・民間・行政などの関係者と連携した新規観光施策実施数	目標	-	5	5	R 年度
		実績	-	4		-
		達成率	-	80.0%		-
	/	目標	-	-	-	R 年度
		実績	-	-		-
		達成率	-	-		-

成果の指標（KPI）	指標の内容	年度	実績		目標	
			R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
成果の指標（KPI）	「博多町家」ふるさと館来館者数	目標	180,000	200,000	161,000	R 年度
		実績	149,685	34,206		-
		達成率	83.2%	17.1%		-
	はかた伝統工芸館来館者数	目標	130,000	130,000	-	R 年度
		実績	125,278	53,618		-
		達成率	96.4%	41.2%		-

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	海辺を活かした観光振興事業	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 福岡市は都市的な魅力と豊かな自然環境が調和したコンパクトな都市として国内外から高い評価を得ている。その豊かな自然環境を育む農山漁村地域の特性・強みを活かし、観光振興と地域活性化を進めるもの。
開始年度	令和2年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			施策成果指標
施策コード	主	5-1-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ		
事業群	福岡の歴史資源の観光活用		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市内外からの観光客(インバウンド含む)
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	豊かな自然環境を有する農山漁村地域の志賀島・北崎エリアにおいて、海辺の観光周遊コースの形成を図る。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	Fukuoka East & West Coast プロジェクトとして、下記の内容を実施した。
	○志賀島エリアにおいて、観光案内板やサイクルラックを設置し、サイクルツーリズムの促進につなげた。
	○北崎エリアにおいて、観光資源を洗い出し、それらを滞在型プランとして情報発信を行うことで、エリア周遊の促進につなげた。
	○立ち寄りスポットづくりの検討について、地域や事業者などと連携し、地域課題や必要とされる機能等、検討を開始した。

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		2,184	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	2,184	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計	-		65,097
歳入	特定財源	-	0
	一般財源	-	65,097

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	○観光案内板の設置などサイクルツーリズムの推進。 ○新たな観光コンテンツ造成による滞在型プランの拡充。 ○地元や事業者との連携による、エリアの特色を活かした立ち寄りスポットづくりの検討。	○市内外からの観光客が、アクセス性を含めエリアの魅力を確認し、SNS等での発信が増加する。 ○市内外からの観光客による、エリアでの消費が増加する。 ○立ち寄りスポットづくりの方向性(場所・機能等)について、エリア内の地域、事業者との合意形成が図れ、立ち寄りスポットが造成。	○志賀島・北崎エリアへの市内外からの観光客(インバウンド含む)が増加している。 ○観光客の志賀島・北崎エリアでの滞在時間が長くなっている。 ○地元や事業者が抱える課題(交通混雑等)が解消されるとともに、観光客の満足度や回遊性が高まり、新たに訪れる方やリピーターの確保に繋がる。	○それぞれのエリアの特色を活かしたプランディングが確立し、志賀島・北崎エリアへの来訪を目的として、福岡を訪れる人が増加する。 ○国内外からの旅行者が増加し、地域の賑わいが増す。		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
		目標	-	-	-	R 年度
実績		-	26,954	50,000	-	
達成率		-	-	-	-	
指標の内容	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	
成果の指標(KPI)	目標	-	-	-	R 年度	
	実績	21,480,000	集計中	-	-	
	達成率	-	-	-	-	
	目標	-	-	-	R 年度	
	実績	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

<b>事業名</b>	福岡城跡復元整備事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局文化財活用部 史跡整備活用課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 本市を特徴づける歴史的文化資源を磨き上げ本市の観光・集客の核とするため
<b>開始年度</b>	平成26年度	
<b>根拠法令</b>	文化財保護法	
<b>行政計画</b>	なし	

基本計画			<b>施策成果指標</b> 過去3年間に福岡城跡(舞鶴公園)に行ったことがある市民の割合(R4年度目標値:60%)
<b>施策コード</b>	主	5-2-1	
<b>分野別目標</b>	再	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている	
<b>施策</b>	緑と歴史・文化のにぎわい拠点づくり		
<b>事業群</b>	市民の憩いと集客の拠点づくり(大濠公園・舞鶴公園の一体的な活用等)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	国史跡福岡城跡
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	福岡城跡を魅力ある歴史資源として磨き上げ、観光・集客の拠点とするとともに、歴史的価値を後世に確実に継承する。また、使える身近な史跡として積極的な公開・活用を図る。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	歴史資源としての磨き上げのため、「国史跡福岡城跡整備基本計画」に基づいた整備・活用を行った。史跡の整備の方面では、令和元年度に引き続き福岡城祈念櫓石垣の解体修理工事を行った。また潮見櫓の復元に向けて、櫓石垣の整備工事を行った。 また福岡城跡の歴史的資源・観光としての魅力を発信するため、SNSを活用して、石垣修理等の福岡城跡整備状況やイベント開催情報等について積極的に情報発信を行った。同時に、歴史系雑誌等へ広告を掲出し、福岡城の魅力と整備基金について紹介を行った。 城内の文化財の公開・活用を進めるため、民間イベントの開催に合わせ、南丸多聞櫓の公開イベントを実施し、総来場者750名の成果を上げている。また市民に直接文化財を直接関わってもらい、福岡城跡を身近に感じてもらうため、多聞櫓内部の清掃イベントを実施した。
-----------------	--------------------------------------	--

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
<b>歳出合計</b>	194,376	
<b>歳入</b>	特定財源 187,713	
	一般財源 6,663	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	R1 R3
<b>歳出合計</b>	85,465	176,530
<b>歳入</b>	特定財源 69,920 164,721	
	一般財源 15,545 11,809	

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)
	平成26年度策定の国史跡福岡城跡整備基本計画にそった整備・活用事業を推進する。市民・観光客がわかりやすく楽しめる環境を整え、広く福岡城の魅力を伝えていく。	福岡城が広く周知されるとともに、整備事業に対する理解・共感を得る。また、多くの市民・観光客が訪れ、活発な公開活用が行われる。	公開活用事業の推進とともに来訪者が増加し、史跡としての福岡城跡の認知度も向上する。また、福岡城整備基金の寄付額が増加する。	福岡城が都心部における観光・集客の拠点となる。また、市民の誇りとしてアイデンティティー形成の核となり、郷土の歴史を知る場となる。
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>
	福岡城むかし探訪館及び三の丸スクエアの来館者数	年度	R1年度 R2年度 R3年度	最終年度
	目標	124,000	130,000	R 年度
	実績	151,304	29,606	130,000
	達成率	122.0%	22.8%	-
	目標			R 年度
	実績			
	達成率			

  

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>
	福岡城整備基金の寄付額(千円)	年度	R1年度 R2年度 R3年度	最終年度
	目標	25,000	25,000	R10年度
	実績	30,226	5,679	25,000
	達成率	120.9%	22.7%	25,000
	目標			R 年度
	実績			
	達成率			

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名		事業区分	重点
まち歩き観光振興事業			
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>  市民や来訪者に対し、本市を正しく理解・認識してもらうため、福岡市が募集・研修養成を実施。平成7年のユニバーシアード福岡大会開催に向けて、市民ホスピタリティの向上を見据えて設立した。	
開始年度	平成3年度		
根拠法令	なし		
行政計画			

基本計画			
施策コード	主	5-3-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり		
事業群	おもてなしの向上		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市民・福岡市を訪れる観光客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 福岡市を訪れる多くの訪問客に、ガイドの巧みな話術とおもてなしで、快適にまちをめぐり、魅力に触れて満足していただくことで福岡市のファンを増やす。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・新型コロナウイルス感染症に対応した、安全安心に配慮した案内業務の検討、実施。 ・市役所ロビーに1名、「博多町家」ふるさと館に1名が毎日(12/28～1/3及び新型コロナウイルス感染症に伴い活動休止していた期間を除く)常駐し、無料の定時ツアーや周辺の観光案内を実施。 ・観光客等の派遣依頼に伴う観光案内活動の実施。 ・企画募集型のまち歩きツアーの実施。
----------	--

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
歳出合計		5,729
歳入	特定財源	0
	一般財源	5,729
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R1
	R3	
歳出合計	5,729	6,353
歳入	特定財源	0
	一般財源	6,353

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	○まち歩きイベントの開催 ○派遣依頼に伴う観光案内活動 ○ボランティアガイドの人材育成 ○まち歩きコースの新規開発 ○観光案内ボランティアガイドの新規募集 ○広報展開(HP,チラシ配布等) ○多言語対応等のインバウンド対応	○観光まち歩きコースの新規造成により、エリアの魅力を発信する機会が増える。 ○観光案内ボランティアガイド登録者増、スキルアップにより、ボランティアガイド人材が充実する。 ○まち歩きコースの案内件数が増える。 ○参加者の多様なニーズに対応できる。	○魅力的なまち歩きコース造成により、福岡を訪れる観光客の満足度が上がる。 ○観光案内ボランティアガイドのスキルアップにより、まち歩きの魅力が増し、リピーターの増加につながる。 ○インバウンド対応等により、訪日外国人観光客の参加者が増える。	○入込観光客数の増加に繋がる。 ○観光客の満足度向上により、滞在時間の延長やリピーターの確保に繋がる。		
	活動の指標	実績	目標	実績		
	指標の内容	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
成果の指標(KPI)	観光案内ボランティアガイド登録者数	目標	60	65	R4年度	
		実績	60	68	65	
		達成率	100.0%	104.6%	65	
		目標	60	62	R4年度	
活動の指標	観光まち歩きコース数	実績	61	61	65	
		達成率	101.7%	98.4%	65	
		目標				R年度
		実績				



# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	MICE誘致推進事業(消、重点)MICEフンストップ体制の運営(重点)MICEのハイブリッド開催支援	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部MICE推進課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か MICEは都市の魅力を発信し、裾野の広い関連産業の振興につながるとともに経済波及効果が高く、文化・スポーツ・芸術等の発展にも寄与することから、長期的・政策的に進行を図ることとして開始。
開始年度	平成13年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画		
施策コード	主	5-4-2
	再	
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている	
施策	交流がビジネスを生むMICE拠点の形成	
事業群	MICE誘致の推進	
施策成果指標	国際コンベンション開催件数	(R4年目標値:250件)
	国内コンベンション誘致件数	(R4年度目標値:160件)

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	MICEの主催者・参加者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	MICE主催者が福岡市の魅力を知り、福岡を開催地として選択する状態。 また、福岡で開催されたMICE主催者・参加者が福岡の魅力に触れ、個人旅行で再来福したり、広く福岡の魅力を発信する状態。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業内容を見直して実施
	・オンラインを活用したセールス活動や誘致活動の実施
	・オンラインで海外の展示会・見本市等へ出展
	・市と(公財)福岡観光コンベンションビューロー、(一財)福岡コンベンションセンターの実務者レベルで会議を開催し、コロナ禍におけるMICEの動向や誘致状況等について情報共有を実施
	・オンラインとリアルを組み合わせた「ハイブリッド型」MICEへの開催支援や安全対策支援、MICE施設へ「ハイブリッド型」MICEの受入環境整備への支援

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		43,722	
歳入	特定財源	16,607	
	一般財源	27,115	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		61,926	113,383
歳入	特定財源	2,000	0
	一般財源	59,926	113,383

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・MICE誘致のためのリサーチ、マーケティング ・MICE主催者・参加者への支援や歓迎演出	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ・MICE誘致対象の発掘 ・MICE開催地としての福岡の魅力向上	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ・MICE開催地として福岡市を選択する主催者の増加 ・福岡で開催されたMICE主催者・参加者が福岡の魅力を感じる	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ・福岡市のMICE都市としての認知度向上 ・MICE開催件数増加による市への経済波及効果上昇 ・MICE主催者・参加者への再来福による経済波及効果上昇																																																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">活動の指標</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">活動の指標</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	活動の指標	目標				R 年度	実績					達成率					活動の指標	目標				R 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果の指標(KPI)</td> <td>目標</td> <td>310</td> <td>増加</td> <td></td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>313</td> <td>集計中</td> <td>増加</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>101.0%</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果の指標(KPI)</td> <td>目標</td> <td>154</td> <td>156</td> <td></td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>127</td> <td>86</td> <td>158</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>82.5%</td> <td>—</td> <td></td> <td>160</td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	成果の指標(KPI)	目標	310	増加		R4年度	実績	313	集計中	増加	増加	達成率	101.0%	—			成果の指標(KPI)	目標	154	156		R4年度	実績	127	86	158		達成率	82.5%	—		160
	指標の内容		実績		目標																																																																																	
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																																
活動の指標	目標				R 年度																																																																																	
	実績																																																																																					
	達成率																																																																																					
活動の指標	目標				R 年度																																																																																	
	実績																																																																																					
	達成率																																																																																					
指標の内容	実績		目標																																																																																			
	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																																	
成果の指標(KPI)	目標	310	増加		R4年度																																																																																	
	実績	313	集計中	増加	増加																																																																																	
	達成率	101.0%	—																																																																																			
成果の指標(KPI)	目標	154	156		R4年度																																																																																	
	実績	127	86	158																																																																																		
	達成率	82.5%	—		160																																																																																	

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	クルーズ船誘致事業	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	背景
開始年度	平成21年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
海外船社によるアジアクルーズ市場開拓が進むについて、中国・韓国と近接する博多港のクルーズ寄港地としての需要が増大。客船寄港による経済効果が大いことから、博多港の強みを活かした積極的な誘致活動が必要となっていた。		

基本計画			
施策コード	主	5-6-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	シティプロモーションの推進		
施策成果指標	外航クルーズ客船の寄港回数 (R6年度目標値:250回)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	船社・旅行代理店等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	クルーズ港としての博多港の認知度・イメージを向上し、北東アジアのクルーズ市場における博多港の地位を確立し、クルーズ客船の寄港増加・定着化につなげる。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多様なクルーズ客船の誘致                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでの海外コンベンションに参加によるクルーズ港としての博多港のPR</li> </ul> </li> <li>●博多港発着クルーズの振興                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により実施見送り</li> </ul> </li> </ul>

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
歳出合計		460
歳入	特定財源	0
	一般財源	460
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R1      R3
歳出合計		7,806      3,208
歳入	特定財源	483      0
	一般財源	7,323      3,208

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船社、旅行代理店等訪問による誘致活動</li> <li>・海外コンベンション等での博多港PR</li> <li>・港での受入体制充実</li> <li>・市民クルーズ、市民船内見学会等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船社、代理店等の寄港地選定権限のあるキーパーソンに、クルーズ港としての博多港が認知される。</li> <li>・乗客、乗員の博多港寄港時の満足度が向上する</li> <li>・博多港へのクルーズ船寄港に対し、市民の認知度や理解度が向上する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博多港がクルーズ寄港地に選定される</li> <li>・博多港のクルーズ港としてのイメージが向上する</li> <li>・博多港発着クルーズの市場が拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ客船寄港及び乗客・乗組員による市内への経済効果が見込まれる</li> <li>・クルーズ拠点港として国内外へ博多港をPRすることができる</li> </ul>		
活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
活動の指標	海外クルーズコンベンションへの参加回数	目標	2	1	年1~2回	R 年度
		実績	2	1		-
		達成率	100.0%	100.0%		
		目標				R 年度
成果の指標(KPI)	外航クルーズ客船の寄港回数(暦年)	目標	280	-	-	R 年度
		実績	206	14		-
		達成率	73.6%	-		
		目標				R 年度
		実績				
		達成率				

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名		事業区分	重点
観光プロモーション事業(消費・重点)			
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ推進課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光マーケティング課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 第三次産業への従事者が大多数を占める本市において、観光産業は消費による波及効果の裾野が広く、都市の成長にとって観光客の誘致は非常に効果的であるため。	
開始年度	平成26年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		
		<b>基本計画</b>	
施策コード	主 5-6-1 再	<b>施策成果指標</b> 入込観光客数 (R4年度目標値:2,000万人)  外国人入国者数 (R4年度目標値:250万人)	
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 国内外の旅行者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 福岡に興味関心を持ち、福岡を訪れる。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 新型コロナウイルス感染症による国の入国制限や海外の新型コロナウイルス感染症状況等を踏まえ、当初予定していたプロモーション関連事業を中止した。
----------	---

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
歳出合計		6,855
歳入	特定財源	0
	一般財源	6,855
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R1
	R3	
歳出合計	23,174	13,162
歳入	特定財源	0
	一般財源	23,174

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	招請事業や現地メディアを活用した情報発信、現地プロモーションなどにより観光都市福岡のPRを実施。 <small>※新型コロナウイルス感染症による国の入国制限や海外の新型コロナウイルス感染症状況等を踏まえ、当初予定していたプロモーション関連事業を中止した。</small>	現地において福岡市の情報に接する機会が増加する。	福岡市の魅力が訴求され、来福意欲が醸成される。	来福観光客が増加する。	
	指標の内容	実績	目標	実績	
	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
活動の指標	情報発信・招請事業の件数 <small>(※新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより未実施)</small>	15	15	15	R年度
	実績	23	0	-	-
	達成率	153.3%	0.0%	-	-
	目標				R年度
	実績				
	達成率				
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	目標	-	-	-	R年度
	実績	21,480,000	集計中	-	-
入込観光客数	達成率	-	-	-	-
	目標				R年度
	実績	2,694,506	320,100	-	-
	達成率	-	-	-	-
外国人入国者数 (※暦年で算定)	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	目標	-	-	-	R年度
	実績	2,694,506	320,100	-	-
	達成率	-	-	-	-

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

		事業区分	重点
<b>事業名</b>	戦略的情報発信事業（一部）＜旧：国内外観光プロモーション事業＞		
<b>所管課</b>	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光マーケティング課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>  来福観光客数を増加させるためには、本市の魅力を発信し認知度の向上を図ることが必要であるため。
<b>開始年度</b>	平成26年度		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		
<b>基本計画</b>			
<b>施策コード</b>	主 5-6-1 再	<b>施策成果指標</b>	入込観光客数 (R4年度目標値: 2,000万人)  外国人入国者数 (R4年度目標値: 250万人)
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
<b>施策</b>	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
<b>事業群</b>	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	国内外の旅行者
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	福岡に興味関心を持ち、福岡を訪れる。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	福岡おもてなし委員会や(公財)福岡観光コンベンションビューローへ負担金を拠出し、広報物を制作予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い事業中止。 市観光情報サイト「よかなび」において、新型コロナウイルス感染症対策を行っている飲食店や宿泊施設の情報発信のほか、郊外型の観光施設、感染症対策を実施している観光施設等の安全安心に観光を楽しんでいただくための情報発信を行った。

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
歳出合計		1,260
歳入	特定財源	0
	一般財源	1,260
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R1	R3
歳出合計	4,794	6,928
歳入	特定財源	0
	一般財源	4,794

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)	
	観光情報について広報物を制作、観光展・観光案内所等において配布。	福岡市の情報に接する機会が増加。	福岡市の魅力が訴求され、来福意欲が醸成される。	来福観光客数が増加する。	
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>	
		年度	R1年度	R2年度	R3年度
観光ガイドブックの発行部数	目標	-	-	-	R 年度
	実績	635,000	0	-	-
	達成率	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-
外国人入国者数(※暦年で算定)	実績	2,694,506	320,100	-	-
	達成率	-	-	-	-
	目標	-	-	-	R 年度
	実績	-	-	-	-

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	クルーズ船観光客の受入調整	
所管課	(旧所管課) 経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 寄港地観光の訪問先が固定化する傾向にあり、訪問先周辺における交通混雑や経済効果が見えづらい要因となっているため、訪問先・時間の分散化やFITの振興等によるツアーの多様化・上質化に取り組む。
	(現所管課) 経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	5-6-2	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	クルーズ客拡大への取り組み		
施策成果指標	外航クルーズ客船の寄港回数(※暦年)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか クルーズ客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか クルーズ客の満足度が向上するとともに、クルーズ船寄港による経済効果が地域へ広く波及される。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ●寄港地観光手配予約システムを活用した訪問先・時間の分散化 ・新型コロナウイルスの影響により実施見送り(システム保守業務委託のみ実施)
----------	---

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		1,229	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	1,229	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計	11,212	1,680	
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	11,212	1,680

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	・クルーズ客用観光バスの訪問先・時間の分散化 ・FIT(訪日外国人個人旅行)の振興等による寄港地観光ツアーの多様化・上質化	・クルーズ客用観光バスの訪問先・時間が分散化する。 ・多様な寄港地観光ツアーが造成される。	・クルーズ客の満足度が向上するとともに、クルーズ船寄港による経済効果が地域へ広く波及される。	・クルーズ客が増加する。		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標		
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
		目標	280	-	-	R 年度
		実績	206	14	-	-
		達成率	73.6%	-	-	-
		目標				R 年度
		実績				
		達成率				

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	水素リーダー都市プロジェクト	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課	背景
開始年度	平成26年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		事業を始めた理由(きっかけ)は何か
平成26年12月の燃料電池自動車の市販開始を契機に、国内外において水素エネルギー・燃料電池の市場拡大と関連分野を含めた新たな市場化が見込まれることから、地場企業を中心に水素エネルギーの産業化を進めることとしたため。		

基本計画			
施策コード	主	6-1-1	
	再		
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	産学官連携による、知識創造型産業の振興		
事業群	知識創造型産業の振興		
施策成果指標	情報通信業の従業者数 (2022年度目標値:54,000人)		
	市内大学の民間企業などとの共同研究件数 (2022年度目標値:1,000件)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地場企業を中心とした水素関連企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	福岡市で水素関連企業がビジネスに取り組む状態。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡市は水素社会の実現をめざし、再生可能エネルギーである「下水バイオガス」から水素を製造する、世界初の水素ステーション「福岡市グリーン水素ステーション」を平成26年度に建設し、その水素を「グリーン水素」として活用するプロジェクトを産学官連携で実施した。</li> <li>令和2年度は、「グリーン水素ステーション」での水素製造に関する耐久性確認及びコスト低減の自主研究など、計4件のプロジェクトに取り組んだ。</li> <li>そのうち、令和2年10月には市主催の屋外イベントにて、「グリーン水素」を活用した燃料電池電源車の給電実証を実施したほか、塩分濃度を利用した水素製造法による実施設における水素製造量の推定への支援などを実施した。</li> </ul>

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		36,404	
歳入	特定財源	63	
	一般財源	36,341	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		37,885	38,813
歳入	特定財源	64	0
	一般財源	37,821	38,813

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)				③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)				④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	○「福岡市グリーン水素ステーション」の自主研究及び視察対応を行うとともに、市民に対する普及啓発に取り組む。 ○「グリーン水素」の利活用について、水素関連企業などと協議する。		○福岡市の先進的な取組みが認知されることで、新たな水素利活用プロジェクトが組成される。				産学官による国プロジェクト等の水素を利活用した取組みが市内で行われる。(福岡市で水素関連企業がビジネスに取り組む状態)				地場企業などの水素関連企業のビジネス拡大や大学との共同研究の増加が期待できる。			
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標			
			年度	R1年度	R2年度	R3年度			最終年度	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
			目標	1	1				R年度	目標	2	2		R年度
実績			1	1	1	-			実績	4	4	2	-	
	達成率	100.0%	100.0%			達成率	200.0%	200.0%						
	目標				R年度	目標				R年度				
	実績					実績								
	達成率					達成率								

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

<b>事業名</b>	企業立地促進制度の実施	
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部企業誘致課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成14年度	
<b>根拠法令</b>	福岡市企業立地促進条例及び同条例施行規則	
<b>行政計画</b>	なし	
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 立地交付金等の企業立地を促進するための施策を実施することにより、本市への産業を集積し、雇用機会の創出、事業機会の増大及び税源の涵養を図ることにより、本市経済活動の活力の維持及び豊かな市民生活の実現を目指して本制度を開始した。

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	6-2-1	
	再		
<b>分野別目標</b>	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
<b>施策</b>	成長分野の企業や本社機能の立地の促進		
<b>事業群</b>	企業や本社機能の立地促進		
		<b>施策成果指標</b>	
		○成長分野・本社機能の進出企業数(50社/年) ○進出した企業による雇用者数(3,000人/年)	

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	国内外の企業等
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	本市への本社や支社等の拠点設置を推進し、定着させる。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	立地交付金を適用することにより、本市へ新たに立地する企業の初期投資を軽減し国内外企業の立地促進を図るとともに、市内既存事業所においても、特定の業種・分野に限り立地交付金を適用し転出防止を図った。
		○交付件数:36件

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
	<b>歳出合計</b>	4,702,037
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	4,122,400
	<b>一般財源</b>	579,637
前年度決算額・翌年度予算額		
	<b>年度</b>	R1      R3
	<b>歳出合計</b>	5,991,435    3,210,304
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	4,418,187    2,631,952
	<b>一般財源</b>	1,573,248    578,352

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・企業訪問・企業面談により、立地支援策等の情報提供及び本市のビジネス環境のPR等の企業誘致活動を実施する。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ・企業等が本市の立地支援策やビジネス環境に関する情報を入手し、市内立地を検討する。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ・本市へ本社、支社等の拠点を設置する。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ・本市全体の税収増。 ・本市全体の雇用増。		
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>				
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>			
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
企業訪問・面談回数	目標	800	800			R4年度
	実績	1,197	542	800		800
	達成率	149.6%	67.8%			
	目標					R 年度
		実績				
		達成率				

  

成長分野・本社機能の進出企業数	目標	50	50			R4年度
	実績	53	50	50		50
	達成率	106.0%	100.0%			
	目標	3,000	3,000			R4年度
進出した企業による雇用者数	実績	1,058	665	3,000		3,000
	達成率	35.3%	22.2%			
	目標					

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	重点分野の企業誘致推進事業		
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部企業誘致課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成16年度		地域経済を活性化させ、本市の国際競争力を高めるため、本社機能や外資系企業、クリエイティブ産業などの、成長性が高い分野の企業誘致を推進するとともに、クリエイティブ人材の市内企業への就職・移住支援等を開始した。
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	6-2-1	
	再		
<b>分野別目標</b>	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
<b>施策</b>	成長分野の企業や本社機能の立地の促進		
<b>事業群</b>	企業や本社機能の立地促進		
<b>施策成果指標</b>	○成長分野・本社機能の進出企業数(50社/年 内外国企業等15社) ○進出した企業による雇用者数(3,000人/年 ※国内企業も含めた合計数値)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	国内外の企業等
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	本市への本社や支社等の拠点設置を推進し、定着させる。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<b>【外国企業誘致推進事業】</b> 外国企業・投資誘致センター運営、ジェトロ等関連団体との連携を通じ、外国企業等への情報発信や連絡・情報提供等を実施し、本市への進出をサポートした。また、ジェトロの招へい事業に応募のうえ、台湾企業を招へいし、進出につなげた。
	<b>【U/Iターン促進事業】</b> 首都圏等で勤務経験のあるIT、コンテンツ等のクリエイティブ関連人材の福岡市へのU/Iターンを促進するため、WEBサイトにおける情報発信や、経営支援課と連動し、市内企業向けの転職マッチングサイトへの流入を促すWEBプロモーションを実施。

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	9,429
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	9,429
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	R1      R3
	<b>歳出合計</b>	18,115      8,411
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	2,626      0
	<b>一般財源</b>	15,489      8,411

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・企業訪問・企業面談により、立地支援策等の情報提供及び本市のビジネス環境のPR等の企業誘致活動を実施する。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ・企業等が本市の立地支援策やビジネス環境に関する情報を入手し、市内立地を検討する。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ・本市へ本社、支社等の拠点を設置する。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ・本市全体の税収増。 ・本市全体の雇用増。		
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>		
			年度	R1年度	R2年度	R3年度
	クリエイティブ企業への企業訪問・面談回数	目標	300	300	300	R4年度
		実績	613	245		300
		達成率	204.3%	81.7%	300	R 年度
		目標				
		実績				
		達成率				
<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>			
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	成長分野・本社機能の進出企業数	目標	50	50	50	R4年度
		実績	53	50		50
		達成率	106.0%	100.0%	50	R4年度
	進出した企業による雇用者数	目標	3,000	3,000	3,000	R4年度
		実績	1,058	665		3,000
		達成率	35.3%	22.2%	3,000	3,000



# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

		事業区分	重点	基本計画			
<b>事業名</b>	商工金融資金・金融対策、経営支援施策普及事業、金融事務費						
<b>所管課</b>	経済観光文化局総務・中小企業部経営支援課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 中小企業は、大企業と比較すると、金融機関からの融資など新たな資金調達が困難である場合が多い。	<b>施策コード</b>	主 再	6-3-1	
<b>開始年度</b>	昭和24年			<b>分野別目標</b>	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
<b>根拠法令</b>	なし			<b>施策</b>	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化		
<b>行政計画</b>	なし			<b>事業群</b>	中小企業の振興		
				<b>施策成果指標</b>	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合 (2021年目標値: 1.50%)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 福岡市内で事業を営む中小企業者
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> 長期・低利・固定金利の融資制度で金融機関からの資金調達を支援することにより、中小企業者の経営の安定化や事業の拡大等を図る。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> 制度改正の実施 ・成長支援資金の創設 ・新型コロナウイルス感染症対応資金の創設 ・新型コロナウイルス感染症対策として経営安定化特別資金(特例枠)の保証料を 市が全額負担(通常0.80%⇒0.00%) ⇒ 2年度においても継続実施 十分な融資枠の確保: 令和2年度融資枠約6,700億円 経営支援施策普及事業の実施: 市内事業所6,523件 ※2年度は郵送により実施 相談窓口の運営: 金融相談件数32,457件
-----------------	--

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計	268,673,525	
歳入	特定財源	268,140,492
	一般財源	533,033
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	R1	R3
歳出合計	69,301,574	253,427,209
歳入	特定財源	68,651,926
	一般財源	649,648
		1,602,932

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>		<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・融資制度の充実強化 ・十分な融資枠の確保 ・経営支援施策普及事業 ・相談窓口の充実	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ・市内中小企業者の資金調達の円滑化	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ・資金繰DIの改善継続 ・倒産件数減少の継続	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ・中小企業の振興、経済の活性化	
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>	
		年度	R1年度	R2年度	最終年度	年度
		目標	-	-	-	R 年度
	実績	5,011	1,518	-	-	
	達成率	-	-	-	-	
	目標	5,000	5,000	5,000	R 年度	
	実績	6,019	6,523	5,000	5,000	
	達成率	120.4%	130.5%	-	-	

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	正社員就職支援事業(R2年度より就労相談窓口事業に統合)	
所管課	経済観光文化局総務・中小企業部経営支援課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 各区市民相談窓口で実施されていた、国の事業である高齢者就職相談窓口の廃止に伴い、市民の求職活動の利便性維持のため事業を開始した。
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	6-5-1	
	再		
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	就労支援の充実		
事業群	就労支援の取組み		
施策成果指標	市の施策による就労者数(R4年度目標値:1,400人)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 就労相談窓口の一般相談を利用する正社員就職希望の求職者
	対象をどのような状態にしたいのか 正社員就職
事業目的	

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①正社員希望者と求人企業とのマッチング強化 → 求人開拓員(2名)が、求職者の希望や適性等を踏まえて正社員求人を開拓し、求人企業の希望等のすり合わせを綿密に実施。 ②相談支援の充実 → 就労相談窓口(一般相談)を訪問等によりサポートする臨床心理士を1人配置。(週2日) → 各区の相談員とともに正社員希望者の自信回復や不安解消など精神面のサポートを実施。

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		47,087	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	47,087	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳入	歳出合計	51,718	51,193
	特定財源	0	6,855
	一般財源	51,718	44,338

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・就労相談窓口を利用する求職者に対し、 →正社員就職支援員による支援 →訪問相談員(臨床心理士)による各区での支援を行う。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ・正社員就職希望者が、自分に合った求人(会社)に出会い、応募する。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ・正社員就職希望者が正社員就職する。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ・市の施策による就労者数が増加する。																																																				
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">正社員求人獲得数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>435</td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>615</td> <td>254</td> <td>435</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	正社員求人獲得数	目標	-	-	435	R年度	実績	615	254	435	-	達成率	-	-			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">正社員就職率</td> <td>目標</td> <td>55.0</td> <td>55.0</td> <td>55.0</td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>56.9</td> <td>44.4</td> <td>55.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>103.5%</td> <td>80.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	正社員就職率	目標	55.0	55.0	55.0	R年度	実績	56.9	44.4	55.0	-	達成率	103.5%	80.7%			成果の指標(KPI)
	指標の内容	年度			実績		目標																																																	
R1年度			R2年度	R3年度	最終年度																																																			
正社員求人獲得数	目標	-	-	435	R年度																																																			
	実績	615	254	435	-																																																			
	達成率	-	-																																																					
指標の内容	年度	実績		目標																																																				
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																			
正社員就職率	目標	55.0	55.0	55.0	R年度																																																			
	実績	56.9	44.4	55.0	-																																																			
	達成率	103.5%	80.7%																																																					

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	スタートアップ支援施設運営事業	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 平成24年のスタートアップ都市宣言や平成26年の国家戦略特区の指定を経て、創業の裾野を広げた福岡市では、ロールモデルという成功事例を生み出すために、起業家だけでなく、技術や資金、専門家、支援者、ネットワークなどが揃ったエコシステムを構築し化学反応を起こすような施設を運営するために平成29年4月に官民共働型のスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」を開設。
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	7-1-1	
	再		
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		

事業区分	重点
施策成果指標	なし

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	創業して間もない企業、個人
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	地場企業との連携や資金調達の拡大などにより、スタートアップ企業が成長する。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	Fukuoka Growth Nextを中心として、以下の事業を展開
	○新しい生活様式における支援の推進
	○コロナ禍においても、オンラインを軸としたイベントを実施するなど、スタートアップ支援を推進
	○ビジネスマッチング
	○成長支援プログラム
○地場企業や大手企業とスタートアップとの連携や投資を呼び込むためのピッチコンテストやビジネスマッチングを実施	
○スタートアップやエンジニア、デザイナーの成長に資するセミナーや勉強会を実施	
開設日：平成29年4月12日（リニューアルオープン：令和元年5月31日）	
令和2年度の実績	
ビジネスマッチング件数：24,322回	
雇用増加者数：268人	
投資件数及び投資額：17社約61億円	

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		149,208	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	149,208	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳入	歳出合計	185,161	91,623
	特定財源	292	0
	一般財源	184,869	91,623

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	成長支援プログラムやセミナー・ピッチ等のイベントを定期的実施する。	企業同士やVCとのビジネスマッチング件数が増加する。	販路拡大や投資拡大により、スタートアップ企業が成長する。	福岡市から新たな価値やイノベーションが生まれ、雇用創出や地域経済が発展する。	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	活動の指標	年度	R1年度	R2年度	R3年度
	目標	14,000	14,000	14,000	R5年度
	実績	12,054	24,322	14,000	-
	達成率	86.1%	173.7%		
	目標				R年度
	実績				
	達成率				
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	目標	3,500,000	4,000,000	4,000,000	R5年度
	実績	3,200,000	6,100,000	4,000,000	-
	達成率	91.4%	152.5%		
	目標				R年度
	実績				
	達成率				

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	スタートアップカフェの運営		
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
			スタートアップ都市づくりの拠点として、スタートアップカフェを開設し、スタートアップの裾野を拡大するための場の提供、及び様々な支援団体のネットワークハブ機能を提供。
開始年度	平成26年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	7-1-1	
	再		
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		

施策成果指標	相談対応件数
--------	--------

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	創業予定者、創業して間もない企業、個人
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	スタートアップの裾野を広げ、都市の成長を促進する。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	スタートアップに関する情報提供・相談・交流機能や創業手続きに関する創業ワンストップ機能、人材のマッチング・再チャレンジや雇用に関する相談などの人材確保支援機能を提供した。
	また、コロナ下においてオンラインも活用して相談やイベントに対応した。
	事業実施場所:福岡市中央区大名2丁目6番11号 Fukuoka Growth Next 1F (受託事業者:株式会社九州TSUTAYA※現 株式会社CCC)
	開設日:平成26年10月11日
	令和2年度実績(R3.3末時点) 相談対応件数3,231件 創業関連イベント開催数:101回 イベント参加者数:2,248名

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
歳出合計		64,912
歳入	特定財源	0
	一般財源	64,912
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R1      R3
歳出合計		65,315      65,054
歳入	特定財源	0      0
	一般財源	65,315      65,054

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	「スタートアップカフェ」を開設し、コーディネーターによる相談対応やネットワーク構築、各種創業関係イベントの実施	相談対応件数が増加する。	スタートアップカフェのネットワークを活用し、多くの創業者を輩出する。	・経済の新陳代謝により、都市の成長が促進される	
	指標の内容	実績	目標	実績	
	活動の指標	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	相談対応件数	1,800	1,900	2,500	R 年度
		1,997	3,231	-	R 年度
		110.9%	170.1%	-	R 年度
					R 年度
					R 年度
					R 年度

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	福岡スタートアップ・サポーターズ協議会事業	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 国内のみならず、アジアや世界で活躍できるような起業家の発掘・育成を通して、「スタートアップ都市・ふくおか」の実現を目指し、もって地域経済の活性化を図ることを目的に平成24年11月30日に設立された。
開始年度	平成24年度	
根拠法令	なし	
行政計画	政策推進プラン	

基本計画			
施策コード	主	7-1-1	
	再	6-3-1	
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		
施策成果指標	新設事業所数 (H34年度目標値: 850事業所/年)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ①市内スタートアップ企業 ②地場中小企業
	対象をどのような状態にしたいのか 新たな事業展開や成長・発展が創出される状態。
事業目的	

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか フクオカ・スタートアップ・セレクション ・「フクオカ・スタートアップ・セレクション」を令和元年10月28日、29日、30日に開催。 ・地場企業によるピッチ、ブース出展、商談会など様々なコンテンツを通して、ビジネスマッチングを促進。

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		8,000	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	8,000	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		10,417	2,000
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	10,417	2,000

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	①有望なスタートアップ企業の情報収集・集約。 ②有望なスタートアップ企業に対して、VCや地場中小企業とのマッチング機会を提供する。	①スタートアップ企業とVCとのマッチングがすすむ。 ②スタートアップ企業と地場中小企業のマッチングがすすむ。	①スタートアップ企業が資金調達によってスケールアップする(スケールアップする成功モデルが創出される)。 ②地場中小企業の新たな事業展開や成長・発展が創出される。	①有望な市内スタートアップ企業とVCが積極的にマッチングする環境が形成され、起業→資金調達→成長→更なる起業といった、スタートアップエコシステムが構築される。 ②地場中小企業の競争力・経営基盤の強化が図られる。	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	活動の指標	年度	R1年度	R2年度	R3年度
マッチングに参加するスタートアップ企業の数	目標	10	10	10	R年度
	実績	17	12	-	-
	達成率	170.0%	120.0%	-	-
スタートアップ企業と地場中小企業のマッチングイベントに参加する企業数(R2年度はオンライン視聴者数)	目標	600	1,000	1,000	R年度
	実績	2,200	3,417	-	-
	達成率	366.7%	341.7%	-	-

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	外国人創業活動促進事業	
<b>所管課</b>	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	<b>背景</b>
<b>開始年度</b>	平成27年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
		<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 《特区制度 H27.12～》 国家戦略特区の規制緩和の一つとして、外国人が創業する際の在留資格(経営・管理)の取得に関する規制緩和について、法令関係が改正され施行された。 《経済産業省制度 H31.1～》 外国人起業家が在留資格「特定活動」を活用し、起業準備活動を行うための制度がH30.12から開始され、福岡市はH31.1に経済産業省から全国で初めて実施団体に認定された。

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	7-1-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
<b>施策</b>	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり			
<b>事業群</b>	「グローバル創業都市・福岡」の実現			
				申請件数

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	福岡市で起業を志す外国人
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	海外から人材の集積や投資の促進を図るとともに、外国人起業家のビジネスを通じてグローバルに展開をする企業が増えることで、「グローバル創業都市・福岡」の実現と新たな雇用を生み出していく。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	○外国人への広報 外国人へ本事業を周知する。 ○事業計画の確認、活動確認証明書の交付 ・外国人の事業計画が上陸後の一定期間内に要件を満たす見込みがあるのかなどについて、中小企業診断士に診断を依頼し、市が確認を行う ・見込みのある外国人に対して、市が活動確認証明書を交付する。 ○事業計画の進捗確認 ・上陸後の一定期間中、事業計画の進捗を確認し、状況に応じてコンシェルジュ等が支援を行う。 ・進捗が良好でない場合は、本国に帰国を促す。 ○スタートアップカフェ(主にグローバル・スタートアップ・センター)を中心に、外国人の起業相談の受付や支援を実施 ・コンシェルジュが事業化の相談を受け、必要に応じてネットワークにつなぐ。 ○コロナ下におけるサポート ・国のレジデンストラックのスキームを活用し、グローバル・スタートアップ・センターと連携し、外国人起業家の入国をサポート。 ・既に入国し活動中の外国人起業家に対して、コロナ関係補助金の説明資料や申請書内容の英訳等のサポートを実施。

事業費(千円)			
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>			
<b>歳入</b>	<b>歳出合計</b>	4,490	
	<b>特定財源</b>	0	
	<b>一般財源</b>	4,490	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
<b>年度</b>		R1	R3
<b>歳入</b>	<b>歳出合計</b>	2,613	4,035
	<b>特定財源</b>	5	0
	<b>一般財源</b>	2,607	4,035

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)						<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)						<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)						<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)				
	外国人へ事業の周知を行う。 外国人の事業計画を確認する。						本事業を利用して在留資格を取得しようとする外国人起業家が増える。						市内で起業する外国人が増える。						外国人起業家のビジネスを通じてグローバルに展開をする企業が増えることで、海外から人材が集積し、投資や雇用が促進される。				
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>		<b>実績</b>		<b>目標</b>				<b>実績</b>		<b>目標</b>				<b>実績</b>		<b>目標</b>					
		申請件数	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度			年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度			年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度		
			目標		20	10		R 年度			目標	10	5		R 年度			目標				R 年度	
実績				18	11	10	-			実績	11	7	5	-			実績				-		
	達成率		90.0%	110.0%					達成率	110.0%	140.0%					達成率							
	目標					R 年度			目標							目標							
	実績								実績							実績							
	達成率								達成率							達成率							

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	外国人創業環境形成事業	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	<b>背景</b> 国家戦略特区の規制緩和の一つとして、外国人が創業する際の在留資格（経営・管理）の取得に関する規制緩和について、法令関係が改正、施行され、制度活用を推進するなかで、市独自の支援メニューを充実し、外国人创业者の環境形成を図る具体的な事業展開が必要であった。
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	7-1-1	
	再		
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		

施策成果指標	応募件数
--------	------

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	優れたビジネスプランを持つ外国人创业者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	外国籍の方が創業しやすい環境を整備するため、住居および事業所の賃料補助を実施することで、事業展開に集中し、福岡市から新たな価値や地域の雇用を生む事業者へ成長できる環境を提供したい。

実施内容（手段）	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○補助金の募集活動 外国人创业者へ事業周知を行うため、英語版のHP等でPRを実施。 ○認定事業の採択・補助金の交付 令和2年度に事業認定を行った事業者に対し、住居および事業所の賃料の一定額に相当する額を補助金として支援した。令和2年度 5件 ○認定事業者へのフォロー 認定事業者に対して、事業の実施状況の確認や適宜スタートアップイベント等の紹介をした。

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		4,894	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	4,894	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		2,877	1,000
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	2,877	1,000

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー（ロジックモデル）	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ○優れたビジネスプランをもつ外国人创业者へ、家賃と事業所の賃料に対し補助を実施するための認定事業者の募集を行う。 ○特区版スタートアップビザおよび新しいスタートアップビザとのパッケージとして海外でのスタートアップイベント等でPRを行う。 ○外国人创业者および外国人創業予定者に対して、個別に制度説明を行う。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ○外国人创业者の本事業への関心が集まり、募集期間前～募集期間中に問い合わせが来る。 ○スタートアップビザを活用した外国人创业者の募集件数が増える。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ○事業認定をうけた外国人创业者は、スタートアップが成長していくうえで重要な時期に福岡市から経済的な支援を受けることで、事業に集中することが出来る。 ○福岡市内での外国人创业者の集積が進む。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ○グローバルな視点をもつ外国人创业者が福岡市に集積することで、新たな価値だけでなく、地域の雇用も創出されるようになる。 ○外国人创业者だけでなく、チャレンジマインドをもった起業家の集約が進み、グローバル創業都市・福岡が実現する。
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
	応募件数	年度 目標 10 実績 9 達成率 90.0%	R1年度 10 R2年度 10 R3年度 5	最終年度 R 年度 -
	達成率	目標 実績 達成率	R1年度 R2年度 R3年度	最終年度 R 年度 -

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	クリエイティブ関連産業の振興	
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	<b>背景</b> 本市には、都市規模を上回るクリエイティブ関連産業の集積があり、今後も本市の成長エンジンとして地域経済を牽引していくことが期待される中、これらの関連産業について、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン等業種に応じた産業振興が必要となるため。
開始年度	平成24年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	7-3-1	クリエイティブ関連事業所数 (2021年目標値:2,900事業所)	
	再			
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興			
事業群	クリエイティブ関連産業の振興			

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内クリエイティブ関連企業（ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン）</li> <li>・個人のクリエイター</li> <li>・クリエイティブ関連分野を専攻している学生</li> </ul>
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業、個人クリエイターの販路が拡大、収益増加している。</li> <li>・クリエイティブ関連企業への就職希望者が就労できている。</li> </ul>

実施内容（手段）	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○ゲーム ゲーム産業分野では、産学官による福岡ゲーム産業振興機構を通じ、ゲーム業界の人材育成・確保に取り組んだ。
	○映像 映像分野では、海外の商談会に参加し、ビジネスマッチングを実施して、映像コンテンツの販売支援やネットワーク構築を図った。
	○ファッション ファッション産業分野では、地場ファッション産業の活性化に向けた取り組みを商工会議所、福岡県等と一体になって支援した。
	○音楽 音楽分野では、福岡ミュージックマンスに参画し、音楽都市としてのブランディングを図るとともに、一層の集客や関連産業の振興を図った。
	○デザイン デザイン産業分野では、福岡県産業デザイン協議会に参画し、デザイン関連産業の振興を図った。

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		15,267	
歳入	特定財源	756	
	一般財源	14,511	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		18,478	16,363
歳入	特定財源	538	48
	一般財源	17,940	16,315

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー（ロジックモデル）	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)																																																																															
	1.人材育成事業(インターンシップ、コンテスト、セミナー等) 2.販路拡大事業(展示商談会出展支援等) 3.イベントの開催 4.情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労希望者が地場企業の必要としているスキルが身に着く。</li> <li>・地場企業が国内外のバイヤーと商談できる。</li> <li>・イベント等でのクリエイターの発表の場ができる。</li> <li>・国内外での事業認知度が上がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保における企業と就労希望者とのミスマッチングが少なくなる。</li> <li>・地場企業が販路拡大・収益増加。</li> <li>・情報発信により福岡ブランドが定着する。</li> </ul>	本市にクリエイティブ関連企業が多数集積・ハブ化し、地元学生の就職の受け皿として十分な状態となるとともに、同産業が地域経済を牽引している状態。																																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">インターンシップ開催回数</td> <td>目標</td> <td>2</td> <td>2</td> <td rowspan="3">1</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R 年度</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	インターンシップ開催回数	目標	2	2	1	R4年度	実績	2	0	1	達成率	100.0%	0.0%		R 年度	目標				R 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">市内ゲーム関連企業従業者数(人)</td> <td>目標</td> <td>2,300</td> <td>2,000</td> <td rowspan="4">2,000</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,941</td> <td>2,088</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>84.4%</td> <td>104.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	市内ゲーム関連企業従業者数(人)	目標	2,300	2,000	2,000	R4年度	実績	1,941	2,088	2,000	達成率	84.4%	104.4%		目標				R 年度		実績						達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																												
R1年度		R2年度	R3年度		最終年度																																																																														
インターンシップ開催回数	目標	2	2	1	R4年度																																																																														
	実績	2	0		1																																																																														
	達成率	100.0%	0.0%																																																																																
R 年度	目標				R 年度																																																																														
	実績																																																																																		
	達成率																																																																																		
指標の内容	年度	実績		目標																																																																															
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																														
市内ゲーム関連企業従業者数(人)	目標	2,300	2,000	2,000	R4年度																																																																														
	実績	1,941	2,088		2,000																																																																														
	達成率	84.4%	104.4%																																																																																
	目標					R 年度																																																																													
	実績																																																																																		
	達成率																																																																																		



# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	アジアフォーカス・福岡国際映画祭 ※当初の役割を果たしたため令和2年度で事業終了
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課
開始年度	平成3年度
根拠法令	なし
行政計画	なし

**事業を始めた理由(きっかけ)は何か**  
 平成元年のよかとびあ開催、福岡アジア文化賞創設などの”アジア太平洋都市宣言”の旗印のもと行われた一連のアジア施策の一環として、映画を通じて行う文化交流として映画祭が始まった。

基本計画			
施策コード	主	7-3-1	
	再	1-4-2	5-1-2
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興		
事業群	クリエイティブ関連産業の振興		

**実施成果指標**  
 クリエイティブ関連事業所数  
 (2021年目標値: 2,900事業所)

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ①市民、観客 ②映像産業関連企業、クリエイター
	対象をどのような状態にしたいのか ①映画を通じてアジアに対する理解と文化交流を促進する。大勢の観客で賑わう。 ②福岡から優れたアジア映画を世界に発信し、新しい才能を発見、育成する。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか キヤナルシティ博多を会場に、質の高いアジア映画の上映を行った。 ○人材育成事業 福岡で活動する若手映画監督や地元映像企業の作品を上映するプログラムを実施した。 ○関連企画 民間主体で実施されている映画・映像イベントと連携し、双方の広報協力を行うなど、映画祭の盛り上げを図った。 ※なお、例年実施している商談会「ネオ・シネマップ福岡」については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
----------	---

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計	25,707		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	25,707	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計	37,429	-	
歳入	特定財源	657	-
	一般財源	36,772	-

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>映画祭を企画・運営する(作品、ゲスト、シンポジウム、イベント等)</li> <li>ポスター、リーフレットの製作やHP、Facebookなどでの情報発信、記者リリースなどより映画祭の周知を図る</li> <li>クリエイティブ関連産業事業を企画・運営する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映画祭を実施し、市民が映画祭に来場する。</li> <li>作品とゲストを招待し、ゲストとの交流事業を実施する</li> <li>人材育成事業を実施し、企画・運営する</li> <li>クリエイティブ関連イベントを実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の映画・映像関係者が交流する</li> <li>日本(福岡)での撮影作品が決定する</li> <li>観客数が増える(映画祭に親しみを感じる、誇りに思う市民が増える。)</li> <li>新聞や雑誌、テレビなどでのニュースパブリシティが増える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちの賑わい創出、ビジネスマッチング、人材育成など新しい機能を組み込み、「クリエイティブ・エンターテインメント都市」づくりに貢献する</li> <li>クリエイティブ関連産業の事業所数が増加する</li> </ul>

  

活動の指標	指標の内容	実績			目標	
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
映像関連商談会参加者	目標		80	80		R 年度
	実績		61	0	-	-
	達成率		76.3%	0.0%		
映画祭来場者数	目標		30,000	30,000		R 年度
	実績		31,483	12,328	-	-
	達成率		104.9%	41.1%		

  

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績			目標	
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
上映作品(映像作品、関連作品含む)	目標		250	250		R 年度
	実績		105	189	-	-
	達成率		42.0%	75.6%		
	目標					R 年度
	実績					
	達成率					

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名		事業区分	重点
クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業			
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 市内のクリエイティブ関連企業からは、分野を超えた交流の場やイベント等を通じた情報発信、スタートアップ支援のニーズが高い。クリエイティブ・エンターテインメント分野は、福岡市の強みを活かせる分野であり、時代を担う産業分野として積極的に振興を図る。	
開始年度	平成24年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		
背景			

基本計画			
施策コード	主	7-3-2	施策成果指標 クリエイティブ関連事業所数 (2021年目標値: 2,900事業所)
分野別目標	再		
施策	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
事業群	個人の才能が成長を生む創造産業の振興 エンターテインメント都市づくり		

## 【事業概要】

対象	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> ・市内クリエイティブ関連企業 (ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン) ・個人のクリエイター ・クリエイティブ関連分野を専攻している学生
事業目的	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> ・異業種の枠を超え、企業、クリエイターが活発に交流している。 ・またその交流から、新たなビジネス機会、価値が生まれている。

実施内容(手段)	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> ○アジアンパーティの開催 アジアフォーカス・福岡国際映画祭、福岡アジア文化賞、クリエイティブフェスタの主要事業に加え、アジアとクリエイティブをテーマとした民間企業・団体等の各種事業と連携を図り、「アジアンパーティ」として9月～10月に集中開催。 ○クリエイティブ福岡推進協議会の運営 異業種交流を目的としたセミナー・交流会、ホームページ・SNS等を活用した情報発信事業等を実施。 ○クリエイティブ・フェスタの開催(10月) 国内外に広くPRする広告塔的イベントとして、「The Creators」を開催。16,000人を集客した。
----------	--

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		74,932
歳入	特定財源	0
	一般財源	74,932
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	年度	R1
	R3	
歳出合計	76,410	86,121
歳入	特定財源	0
	一般財源	76,410
	R3	86,121

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																				
	○アジアンパーティの開催 ○クリエイティブ福岡推進協議会(クリエイティブ・ラボ・フクオカ)の事業実施 ・セミナー・交流会等の開催 ・情報発信事業(ホームページ等の運営) ・クリエイティブフェスタの開催	・イベント等でクリエイターの発表の場を提供する。 ・イベント等で市民の方々がクリエイティブ関連分野の最新技術に触れる機会を提供する。 ・企業、クリエイターとの情報交換やネットワーク構築の場を提供する。 ・情報発信を通じて事業の認知度が向上、事業の参加者が増加する。	・企業、クリエイターにおいて異業種間も含めた交流が活発化する。 ・アジアンパーティの時期に国内外のクリエイターが福岡に集まる。	本市にクリエイティブ関連企業が多数集積・ハブ化し、地元学生の就職の受け皿として十分な状態となるとともに、同産業が地域経済を牽引している状態。イベント等を通じた国内・海外への情報発信を通して「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」のブランディングができています。																																																																																				
活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">セミナー・交流会の開催数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">5.0</td> <td style="text-align: center;">R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">20.0%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	セミナー・交流会の開催数	目標	5	5	5.0	R4年度	実績	1	5	5.0	達成率	20.0%	100.0%				目標				R 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">アジアンパーティの参加者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">465,000</td> <td style="text-align: center;">465,000</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">465,000</td> <td style="text-align: center;">R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">660,000</td> <td style="text-align: center;">300,000</td> <td style="text-align: center;">465,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">141.9%</td> <td style="text-align: center;">64.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	アジアンパーティの参加者数	目標	465,000	465,000	465,000	R4年度	実績	660,000	300,000	465,000	達成率	141.9%	64.5%				目標				R 年度		実績						達成率				
指標の内容	年度			実績		目標																																																																																		
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																																			
セミナー・交流会の開催数	目標	5	5	5.0	R4年度																																																																																			
	実績	1	5		5.0																																																																																			
	達成率	20.0%	100.0%																																																																																					
	目標				R 年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																				
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																																			
アジアンパーティの参加者数	目標	465,000	465,000	465,000	R4年度																																																																																			
	実績	660,000	300,000		465,000																																																																																			
	達成率	141.9%	64.5%																																																																																					
	目標				R 年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

<b>事業名</b>	アジアビジネス促進・支援事業		
<b>所管課</b>	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部国際経済課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	H21		大企業と異なり、国際ビジネスについて独自の展開や情報の取得が困難な地場中小企業の海外展開を支援するため
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	8-3-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている			
<b>施策</b>	国際的なビジネス交流の促進			
<b>事業群</b>	国際ビジネスの振興			博多港・福岡空港における貿易額

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	地場中小企業
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長著しいアジアへの販路拡大や外国企業との連携強化。</li> <li>・福岡フードビジネス協議会を通じて、福岡・九州の地場食品製造企業がまとまって輸出拡大を進め、福岡・九州の食の海外でのブランド化を図る。</li> </ul>

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福岡アジアビジネス支援委員会(福岡市、福岡商工会議所、ジェトロ福岡、福岡貿易会)の活動を通して、下記事業を実施(共催事業含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー開催: 3回</li> <li>・展示会・物産展参加支援: 1回</li> <li>・商談会開催: 2回</li> </ul> </li> <li>○福岡フードビジネス協議会(下記事業を実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同出展: 1回 (Food EXPO Kyushu2020)</li> </ul> </li> </ul>

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		2,380
歳入	特定財源	0
	一般財源	2,380
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	年度	R1
	R3	
歳出合計	9,891	3,150
歳入	特定財源	2,500
	一般財源	7,391

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイヤーの招聘。</li> <li>・展示会(国内・海外)への参加。</li> <li>・海外ビジネスに関するセミナー開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からのバイヤーを招聘し、地場企業との商談を行う。</li> <li>・地場企業がセミナー・展示会に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡・九州の企業の海外との取引額が増える。</li> <li>・福岡市の貿易額(博多港・福岡空港)が増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卸売・小売・物流など市内産業の活性化。</li> <li>・人・モノ・情報が集積する福岡のショーケース機能の強化。</li> <li>・福岡・九州の食の海外での認知度が高まる。</li> </ul>	
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>年度</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
				R1年度	R2年度
			R3年度	最終年度	
			R 年度		
	商談件数	820.0	850.0	620.0	-
		876.0	409.0		
		106.8%	48.1%		
		300.0	300.0		
	セミナー参加人数	647.0	209.0	300.0	-
		215.7%	69.7%		

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>年度</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
			R1年度	R2年度
			R3年度	最終年度
			R 年度	
	博多港・福岡空港における貿易額【億円】	38,000.0	39,000.0	39,500.0
		47,284.1	43,654.2	
		124.4%	111.9%	